

2024

イノベーション教育学会 第11回年次大会

QUESTION
問い

あなたにとって、

地域とは

イノベーションとは

可能性・未来とは

3/15 (FRI) 14:00~17:00

3/16 (SAT) 09:30~18:00
18:00~20:30

3/17 (SUN) 09:00~15:30

INNOVATION
×
EDUCATION
×
Faculty of
Regional Innovation



CONTENTS

イノベーション教育学会について・・・2
 第11回年次大会の概要・・・3
 会場案内・・・5

DAY 0 エクスカーション

スケジュール・・・6
 講演者情報・・・7

DAY 1 年次大会 1日目

スケジュール・・・8
 部会セッション概要・・・9
 政策共創部会・・・10
 研究部会・・・12
 高校教育部会・・・14
 企業教育部会・・・16
 医療部会・・・18
 プログラム開発・普及分科会・・・20

DAY 2 年次大会 2日目

ポスターセッション概要・・・22
 発表者とタイトル・・・24
 フューチャーセッション概要・・・28

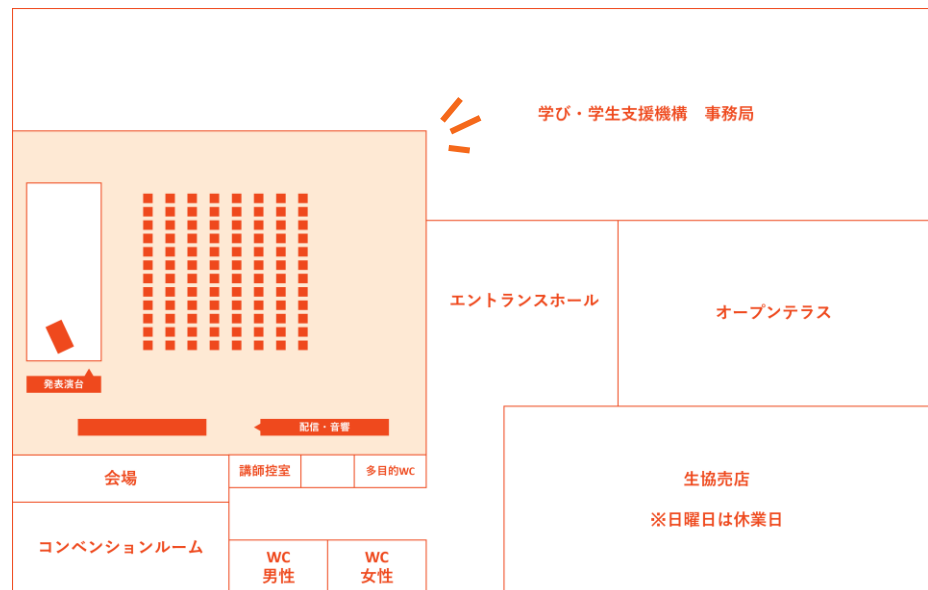
INFORMATION



学会ホームページ
 はこちら

大会
 概要

メイン会場地図



ABOUT US イノベーション教育学会

社会のイノベーションに対する必要性の高まりに応じて、

イノベーション教育に関する研究の進展もみられ、

世界的にもイノベーション教育を専門に行う

高等教育機関が設置されてきました。

このような中、2013年に東京大学・九州大学・慶應大学を

中心とする国内で先端的なイノベーション教育

プログラムを提供する大学関係者を中心に

イノベーション教育学会が設立され、

イノベーション教育・創出に関する活動成果や研究成果を発表し、

互いに学び合う場としての学会となりました。

部会活動



政策共創部会



研究部会



高校教育部会



企業教育部会



医療部会



PG分科会



第11回年次大会について

大会テーマ

地域におけるイノベーションの意味と可能性

地域における
イノベーション事例

イノベーション
教育理論



地域を豊かにするイノベーション創出人財の
エッセンス抽出



地域にイノベーションを起こせる
人材育成方法論の到達点と課題を探る

大会ゴール

3つの問いに対して参加者相互の学びを共有し未来を語ることで、各参加者がその答えを得る、または得るためのきっかけをつむことを目的とします。地域の方にイノベーション・イノベーション教育の可能性を感じていただき、明日から身近な課題の解決に役立つ知見をお持ち帰りいただくことを目指します。



STORY

01

旅の始まり
「ようこそ宮崎へ」

▷エクスカージョン

02

出会いと交流

宮崎の企業・行政ゾーン ▷基調講演
部会エリア ▷部会セッション
人々のエリア ▷ポスターセッション

03

新たな旅たち

学びと気づきのエリア
▷フューチャーセッション

概要

〔宮崎のイノベーション事例報告〕

地域を巻き込み、地域資源を活用したイノベーション事例

スケジュール

- 14:00 基調講演
- 15:00 ネットワーキングセッション
- 17:00 エンディング
- 17:15 バス出発
- 18:00 宮崎市内到着



MUKASA-HUBについて



▲カフェを併設した
コワーキングスペース
「MUKASA-HUB」



詳細はこちら



移動について

エクスカーション会場へは、
3月15日13時、宮崎空港に貸し
切りバスがお迎えに上がり、会
場までお送りします。

現地集合される方は、13時
50分目処に直接会場までお越し
ください。

また終了後、宮崎市内（橘通
で一旦停車し、宮崎駅前まで）
までお送りします。ホテルの場
所等を踏まえ、ご希望の場所で
下車ください。

講演者

（株）一平ホールディング 代表取締役 村岡様 地域イノベーターによる商品開発・後進育成事例

1970年、宮崎県生まれ。人口12,000人のまち、宮崎市高岡町で廃校となった小学校をリノベーションし、カフェやシェアオフィス・コワーキングを併設するMUKASA-HUBを運営。“世界があこがれる九州をつくる”を経営理念として、九州産の農業素材で作られた「九州パンケーキミックス」をはじめとする商品開発の他、カフェ・飲食店を国内外に展開。食を通じた地域活性化やコミュニティ創生にも取り組んでいる。



（株）高千穂ムラたび 飯干様 中山間地域における商品開発・中山間連携事例

2009年 高千穂町役場 早期退職後「限界集落再生」をマネジメントする組織「高千穂ムラたび協議会」を設立。若者人材育成、ムラをまるごと博物館に見立てたエコミュージアムの整備などの地域資源を活用した地域再生に着手。2012年（株）高千穂ムラたびを設立。民宿、ゲストハウス、どぶろくの醸造、甘酒の製造、米糠由来の焼菓子製造、米糠由来のペットフード製造などの事業を展開しつつ、ECサイトの多店舗開設、欧米富裕層の農村観光誘致活動（海外プロモーションや海外エージェントの招致等）、物販の海外マーケット開拓。また、農村ツーリズムの活動を支援する「一般社団法人 ムラたび九州」代表理事日本で初となる 観光分野の専門職人材を育成する和歌山大学観光学部観光専門職大学院の客員教授。



（株）MFEHIMUKA 代表取締役社長 島原様 中小企業のイノベーション促進支援制度創設事例

地域の人づくり、仕事づくりを人生の目的とし、尊敬する人物は吉田松陰。趣味は読書、トレーニング、座禅、みそぎなど、毎月各種ルーチンを行っている。毎月、愛気道、木鶏クラブ、藤堂塾、陰陽五行論塾などの勉強会で学び、修行に勤しんでいる。地域経済の活性化と産業人材の育成をライフワークとして、日向市でオープンイノベーションプラットフォームを主宰するなど、地域活性化の取組みを推進している。



スケジュール

- 09:30 ● 宮崎大学学長 鮫島浩 挨拶
基調講演 1
- 10:00 ● 基調講演 2
- 11:00 ● 共創部会セッション
- 12:00 ● 昼食
- 13:00 ● 研究部会セッション
- 14:00 ● 高校教育部会セッション
- 15:00 ● 企業教育部会セッション
- 16:00 ● 医療部会セッション
- 17:00 ● プログラム開発・普及分科会セッション
- 18:30 ○ 懇親会

大会基調講演

1 文部科学省科学技術・学術政策局産業連携・地域振興課産業連携推進室長 迫田 健吉 様
「我が国のアントレプレナーシップ教育の取組と方向性」

2 都城市役所ふるさと産業推進局 副課長 野見山 修一 様
「ふるさと納税日本一を実現した行政経営のイノベーション事例（行政経営と公民連携）」

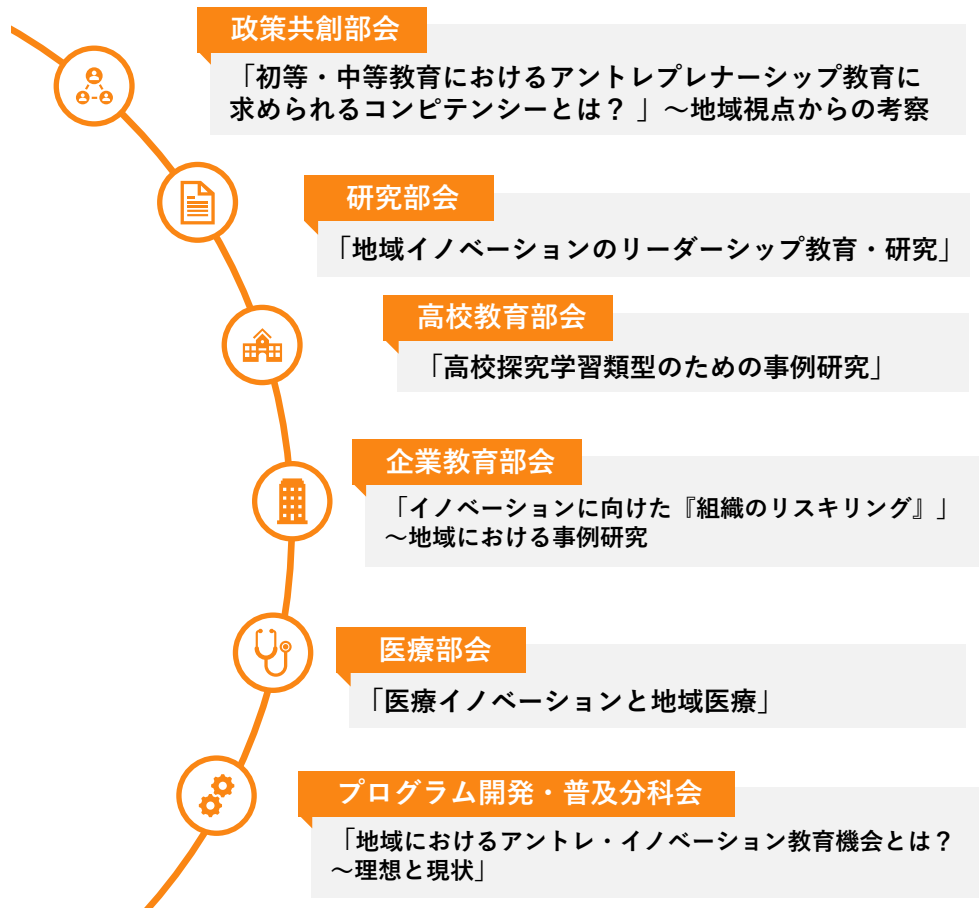
懇親会基調講演

霧島酒造（株）専務江夏拓三様
「宮崎が全国に誇る「霧島」を生み出した会社経営のヒミツ」

各部会の詳細はこちら

- 部会概要
- 活動形態
- メンバー
- 紹介資料
- 募集方法

パスワード：innomiyazaki_11th

「初等・中等教育におけるアントレプレナーシップ教育に求められるコンピテンシーとは？」～地域視点からの考察

概要

政策共創部会は『産官金民学といったそれぞれの立場から、「イノベーション」の定義やイノベーション教育、アントレプレナーシップ教育の違いや共通点などを共有し、効果的なイノベーション教育およびアントレプレナーシップ教育が実現できる政策や枠組みについて検討し、実現を目指す。』ことを目的として2021年11月に設置された。

2022年度、2023年度の部会で議論、検討するテーマとして「初等・中等教育におけるアントレプレナーシップ教育に求められるコンピテンシーとは？」を掲げ、その内容について2023年12月に報告書「日本版EntreComp「アントレプレナーシップ教育における4領域8能力」の検討について」としてまとめ、イノベーション教育学会HPを通じて公開を行った。本セッションでは本テーマについての議論を通じて得られた気づき、視点を共有するとともに、初等・中等教育におけるアントレプレナーシップ教育に携わるステークホルダーにごパネリストとしてご登壇いただき、初等・中等教育におけるアントレプレナーシップ教育の現在の取組みと今後の方向性、課題について議論を深めたい。

ファシリテーター

北岡 和義 様 (徳島大学、政策共創部会発起人)

パネリスト

迫田 健吉 様 (文部科学省科学技術・学術政策局
産業連携・地域振興課産業連携推進室長)

日隈 俊郎 様 (宮崎県副知事)

三浦 章子 様 (宮崎県立高鍋高等学校 指導教諭)

北郷 晶子 様 (宮崎県立都城商業高等学校 教諭)

タイムテーブル

- 政策共創部会紹介 (5分)
- パネルディスカッション (40分)
- 参加者質問 (15分)
- クロージング

地域イノベーションのリーダーシップ教育・研究

概要

研究部会は大学研究者を中心としつつ、企業等の実務家・教育者らも入って、イノベーション教育に関わる多様な既往・実施中研究を対象とした議論を行っている。「研究」部会という性質もあり、ワークショップ等のイノベーション過程における事象の解明や、社会心理学・経営学等の既往の理論・知見の応用が多く見られていた。ただ、本学会は「イノベーション」ではなく「イノベーション教育」を主題としており、イノベーション教育のニーズが高い文脈（中等～高等教育、リスキリング、地方創生等）に根ざした議論もまた重要である。

そこで本年次大会においては、地域における課題解決や価値創出を担う人材のリーダーシップに関わる教育や研究という文脈で、部会内外のパネリストが各自の実践・研究や専門領域に照らした議論を行い、研究から実践への貢献、あるいは実践から新たな研究発掘の可能性を探る。研究と実践との接続、学術的にも社会的にも有意義な知見の創出に関心のある方にぜひご覧いただきたい。

なお、各パネリストの興味深い取り組みについては発表動画を事前公開し、当日はできるだけ多くの時間をディスカッションに割く。

ファシリテーター

油井 毅 様（愛知学院大学 経営学部 講師）

パネリスト

上田 信行 様（同志社女子大学 名誉教授）

酒瀬川 泰孝 様（立教大学経営学部 兼任講師）

瀬川 直樹 様（宮崎大学地域資源創成学部 准教授）

タイムテーブル

- | | |
|-------------|---|
| 13:00-13:05 | ファシリテーターから、メンバー紹介（名前・所属）、パネルディスカッションのテーマ、目的、論点の紹介 |
| 13:05-13:14 | パネリストそれぞれスライド1枚、3分で自己紹介+事前収録した発表の紹介 |
| 13:14-13:50 | パネルディスカッション |

高校探究学習類型のための事例分析

概要

高校教育部会は現場で探究学習に取り組む教員、及び大学研究者などが参加し、これまで探究学習のあり方、指導法、評価、他教科への波及、産学民連携など様々な観点から議論を重ねてきた。本セッションでは、自校で探究学習に取り組む教員があえて他校のプログラムを分析することで見えてきたことを共有し、探究学習を類型化していくための足がかりを議論する。

ファシリテーター

堀井 秀之 様
(一般社団法人日本社会イノベーションセンター代表理事、i.schoolエグゼクティブ・ディレクター、東京大学名誉教授)

パネリスト

- 山岡 佳代 様 (芝浦工業大学附属中学高等学校 教諭)
- 坂本 淳 様 (徳島県立脇町高等学校 教諭)
- 猪股 秀一 様 (宮崎県立宮崎大宮高等学校 主幹教諭)
- 木場 康典 様 (宮崎県立宮崎大宮高等学校 教諭)

タイムテーブル

- 部会活動報告 (5分)
- 各パネリストによる事例分析発表 (3校各10分)
- クロスディスカッション (15分)

「イノベーションに向けた『組織のリスクリング』」 ～地域における事例研究～

概要

企業教育部会では、「イノベーションに向けた『組織のリスクリング』」をテーマとして今年度活動してきた。組織に焦点を当てた背景は、リスクリングは「個人の学びなおし」として認識されているように、人材転換や雇用の流動化の一環とされている。一方、過去を振り返れば、日本における失敗の要因は個人レベルより組織レベルにあったと考えたからである。

我々が仮説として設定したのは、第1に、組織も適切な原理と方法論を用いればイノベティブな組織へとリスクリング可能であり、第2に、その一つとして国内の組織としてイノベーションを起こしてきたHondaのワイガヤという仕組みが有効であるというものである。この仮説を検証するため、年次大会開催地宮崎において2つの事例研究を実践した。

セッションでは、Hondaのワイガヤをベースとして開発した「YG Innovation Facilitator」を用いたワークショップを実施したファシリテーターと受講したパネラーに登壇いただき、「個人・組織にとっても意味のあるプログラムとは何か、有効な武器としてさらに広めてゆくために必要なものはなにか」、今回の実践を通して得られた結果を基に議論する。

ファシリテーター

佐藤 央男 様 (本田財団)

パネリスト

野見山 修一 様 (都城市役所ふるさと産業推進局 副課長)

長濱 信幸 様 (宮崎県立宮崎商業高等学校 主幹教諭)

仲山 修司 様 (本田技研工業株式会社)

森 由美 様 (SCSK株式会社人材開発本部専門性推進部 部長)

タイムテーブル

15:00～15:05 テーマ設定および事例選定理由

15:05～15:15 YGIFとワークショップ設計内容の説明

15:15～15:25 パネラーからの課題感共有

15:25～15:50 ディスカッション
(効果測定結果・感想手ごたえ・今後の展開・提言)

医療イノベーションと地域医療

概要

医療イノベーションというと手術用ロボットやiPS細胞のような先端技術の実用化・普及というイメージがあるが、地域医療の課題に対するイノベーションは必ずしも先端技術によるものとは限らないこともある。医療現場や患者のニーズに基づいた課題の捉え方が重要となり、異分野の既存技術の応用展開が有用である場合も多い。本セッションでは、地域医療の課題に取り組んでいる医師でもある起業家と大学等でイノベーション教育に取り組んでいる教員等で今後の医療分野に求められる教育プログラムについて議論したい。

ファシリテーター

松浦 昌宏 様 (東京医科歯科大学・OIセンター・特任教授)

パネリスト

山田 裕輝 様 (株式会社Medii・代表取締役医師)
(オンライン参加)

谷川 徹 様 (e.lab Managing Director/元九州大学教授)

齊藤 滋規 様 (東京工業大学・環境・社会理工学院・教授)

祇園 景子 様 (神戸大学・V. School・准教授)

「地域におけるアントレ・イノベーション教育機会とは？ ～理想と現状」

概要

PG分科会の第1・2回オンラインセミナーでの議論（教育（機会）の「格差」）等を踏まえて、大学教員、地域で活躍する実務家、教育の直接の受益者である学生の計4名をパネルにお呼びして、「地域におけるアントレ・イノベーション教育機会」について議論する機会とする。

ファシリテーター

武田 浩太郎 様（宮城大学）

パネリスト

田村 正文 様（八戸学院大学）

上條 由紀子 様（九州工業大学）

丹野 真人 様（NPOアスヘノキボウ）


米倉 美咲 様（宮崎大学地域資源創成学部2年、V2F受講）

スケジュール

9:00	自由閲覧
10:00	ポスターセッション
12:00	昼食
13:00	総括セッション 開始
15:00	総括セッション 終了
15:30	次期開催校挨拶 & 閉会挨拶

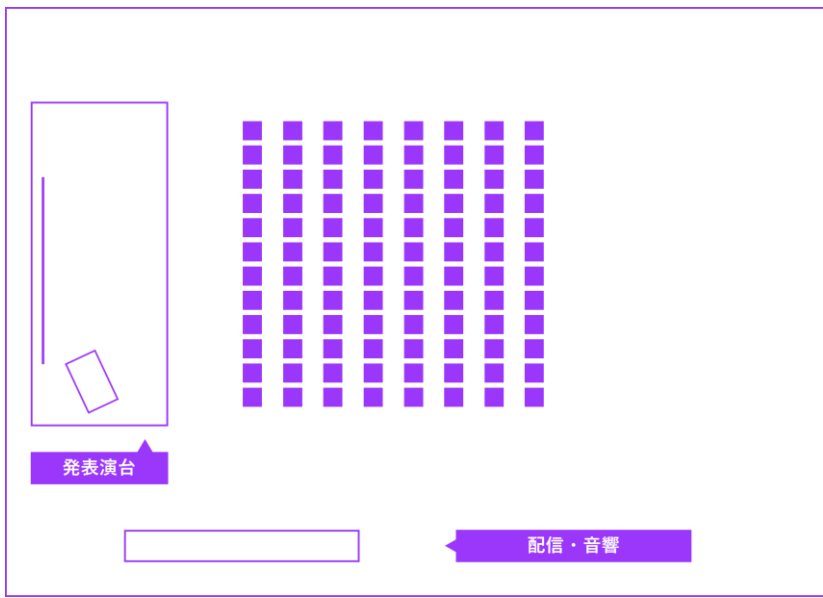
ポスターセッション発表者の
プレゼン資料と動画はこちら

パスワード：innomiyazaki_11th



会場地図

- ZONE 04 事例発表
- ZONE 05 大学生 高校生
- ZONE 06 特別企画



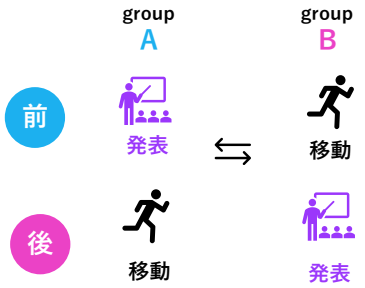
- ZONE 03 研究
- ZONE 02 ワーク ショップ
- ZONE 01 教育 プログラム



会場発表者

A0ポスターを会場に掲示します。発表者は原則、ポスターの横にお立ちいただき、会場来場者がポスター近くにいられたら、来場者の求めに応じて説明や質疑応答対応をお願いします。

各発表者は半分の時間は説明対応し、残りの半分は他の発表者のポスターのところに自由に移動できます。(右図参照)



会場来場者

2時間の間、発表者一覧やゾーニングを参考に、会場来場者は自由にポスターの前に行き、発表者に説明を求めたり、質問をしてください。

なお、発表者は通し番号を付した腕章をしているので、自分が語り掛けたい発表を探す目印にしてください。



オンライン参加者

ブレイクアウトルームを自由に移動できる設定にしています。セッション中、事前にアップされた動画をご視聴ください。ご質問がある場合は、ご興味ある発表者のブレイクアウトルームに移動し、チャットを活用してください。

※会場来場者多数の場合は時間内の回答が難しい場合があります。予めご承知おきください。

ZONE 01

教育プログラム

高校探究Lab（前編）
財務諸表を基盤としたアントレプレナーシップ教育プログラムの提案
小学生を対象としたアントレプレナーシップ教育プログラム開発の試み －「スポーツで学ぶアントレプレナーシップ」開催とその成果－
障害や困窮から「生きる力」を育む 学びのおばあちゃんち
アントレプレナーシップを学べるカードゲーム「チャレンジピッツァ」 の実践と効果検証 -飲食店との地域連携による事例を中心に-
徳島大学i.school第二期の取組み － 徳島大学が推進するイノベーション教育の事例紹介 －
関西スタートアップ アカデミア・コアリション（KSAC）での 教育体系化の進捗と展望
「知的／教育コミュニティ」としての地域および実務家人材に対する期待 ～地域参画型フィールドワーク教育プログラムを実施して～
「自分の想像」と「社会の創造」が同期する探求カリキュラム

01	芝浦工業大学 附属中学高等学校	山岡佳代
02	東北大学大学院 環境科学研究科	丸山 衡平
03	北海道大学 産学・地域協働推進機構	椎名希美
04	学びの芽育	西川 寿美礼
06	北海道大学 産学・地域協働推進機構	岩城圭司
07	徳島大学	玉有朋子
08	神戸大学	鶴田宏樹
09	宮城大学	武田 浩太郎
10	宮崎市立宮崎中学校	鬼塚拓

ZONE 02

研究

イノベーション創出におけるチームのチカラ - 創出アイデアに対する 事業化モチベーションの比較検

11	本田技研工業株式会社	仲山 修司
----	------------	-------

ZONE
03

研
究

VRを活用した培養技術者教育ツールの開発と評価	12	大阪工業大学	横山 広充, 長森 英二
コンフリクトに関する質問紙を活用した学生デザインチーム状況の把握にむけて	13	東京工業大学	田岡祐樹
デザインチーム活動における心理的不確実性の対象と変動理由の探索	14	東京工業大学大学院	高龍叡
シグニファイアを用いた環境デザインに関する研究	15	工学院大学	早川佳吾, 田村龍哉, 見崎大悟
実践教育の試みと地域論, 資源論から考える地域イノベーション教育	16	宮崎大学地域資源創成学部	瀬川直樹
社会における[やる気]を創出するプログラムに関する研究	17	事業構想大学院大学	藤田葉子

ZONE
04

事
例
発
表

こども・若者の地域における探究活動伴走の取り組み	18	都城市地域プロジェクトマネージャー	池田 浩二
アニマルウェルフェア	19	都城市立姫城中学校	北郷優斗
WASHハウスだからこそ実現できたイノベーションについて	20	WASHハウス株式会社 人材開発室	清水 春菜
地域における新聞の役割と課題、読者増に向けた取り組み	21	宮崎日日新聞読者局販売部	坂田翔麻
小規模地方大学におけるイノベーション教育・アントレプレナーシップ教育および地域連携に関する現状と課題	22	八戸学院大学	田村正文, 川守田景子, 堤静子
こどもたちに託したいイノベーション創発国”日本”	23	team響24!	齊藤あつし

ZONE 04

事例発表

「本格麦焼酎 霧島ほろる」「本格米焼酎するる」 新商品開発および“開発リーダー”に求められる力
ひなたイノベーションセンター
スタートアップエコシステムのケーススタディと 地方都市への応用可能性についての考察
青島学生プロジェクト ～大学生によるイベント実施が生み出した青島の新たな価値～
カーボンニュートラル社会を目指した社会問題解決型プログラム ：FBL「未来社会とエネルギー」実施報告
みやざき未来研究所-分野を超えた叡智の共有-

24	霧島ホールディングス株式会社 企画室 商品開発課	大岩達郎
25	一般社団法人日向地区中小企業支援機構	島原俊英
26	徳島大学	石原佑
27	宮崎大学地域資源創成学部	青島学生プロジェクト
28	神戸大学バリュースクール,早稲田大学理工学術院 創造理工学部 他	祇園景子・渡邊るりこ ・藤井信忠・鶴田宏樹
29	ミヤダイミライ塾事務局	脇雅昭

ZONE 05

大学生・高校生

のくにプロジェクト
ICTを活用したプレゼンテーションの自動評価システムの開発
IoT時代に必要なSTEAM人材を育てるPBL型授業 －函館高専における実践事例－
ニホンミツバチと共生する
創造的な土壌を育む函館高専の実践的な実験カリキュラム
失敗感尺度と創造的態度の相関性-2023年度i.school DP生より-
徳島大学i.schoolでの学びと成長-参加学生の視点より-
これまでのイノベーション活動の軌跡

30	宮崎県立都城商業高等学校 共創ウェルビーイング部	林来瞳
31	大阪工業大学	廣島峻吾,横山広充
32	函館工業高等専門学校	飯田 昇冨
33	横浜国立大学(新1年生)	北郷 優月
34	函館工業高等専門学校	吉田海翔
35	徳島大学/徳大i.school	中井 里沙
36	徳島大学生物資源産業学部3年	高田太陽
37	芝浦工業大学附属高等学校	東田繁洸

テーマ

全参加者による交流・総括セッション

ゴール

お互いの学びを共有・未来を語る



イノベーションの可能性
を実感する



「イノベーション教育」
が地域の可能性を広げる



イノベーション教育を
受けてみたいと感じる

ファシリテーター

- 宮崎大学 谷田貝孝
- 徳島大学 北岡 和義・玉有朋子

スケジュール

13:00	開会挨拶・主旨説明
13:10	チェックイン
13:25	ストーリーテリングトリオ
13:45	ワールドカフェ説明
13:50	グループワーク①
14:10	グループワーク②
14:30	チェックアウト
14:40	共有（ハーベスト）
14:55	閉会式